

スタディスキル 1 ノートをうまくとるために！

～板書を写すことが難しい～

どこ、書くの？

あれ？どこ！？

(1)困っていること

- 黒板の形とノートとの形が違う。
- 見たとおりに書けない。
- 見たことを覚えていられない。
- 書く量が多くて、間に合わない。
- 目を離したら、どこを書いていたか分からなくなった。



(2)要因

協応動作・視機能に弱さがある。短期記憶が苦手。

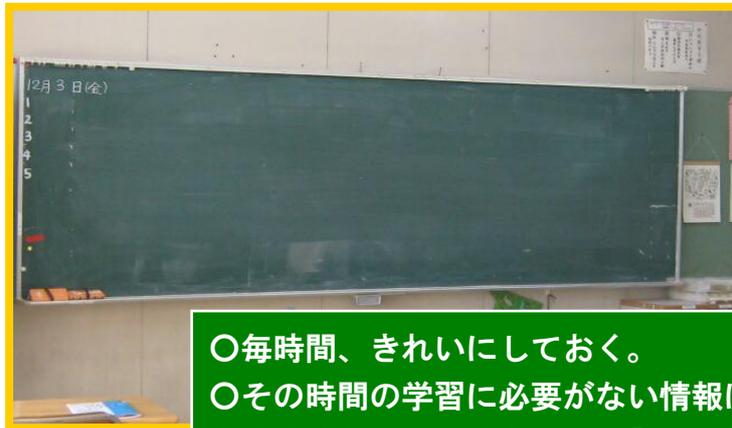
そこで…

(3)対応

環境づくりをしよう！

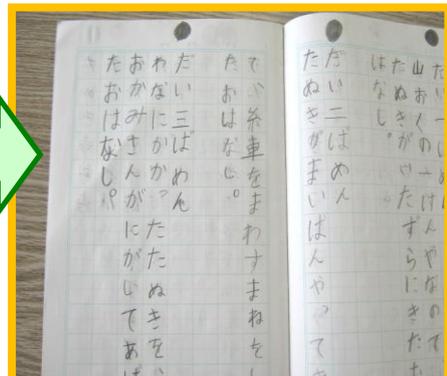
- 協応動作とは、目であらえたものに手が反応する等、二つの運動を連結する作業のこと。
- 視機能とは、視力や追視運動等、見る力全般のこと。

①黒板まわり



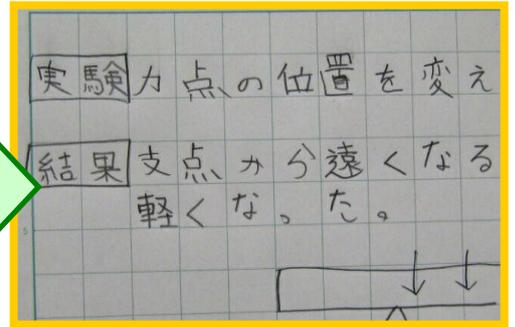
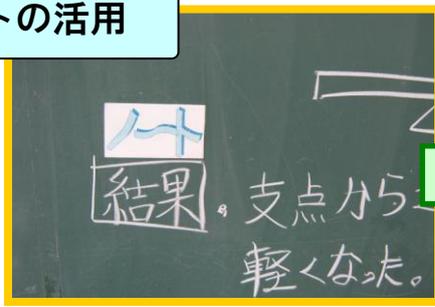
- 毎時間、きれいにしておく。
- その時間の学習に必要な情報は掲示しない。
- 常時書かれているものは、「月日」等、最低限に。
- 注目してもらいたいものは枠・チョークの色・カード等で工夫をしよう。
- チョークは黄色と白色が見やすく、効果的。

②ミニ黒板の活用



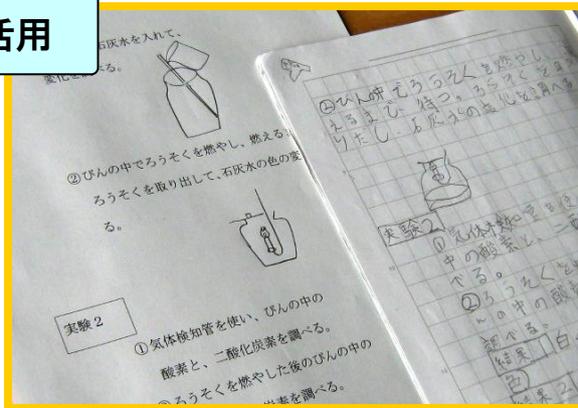
- 折り返す場所が分かるので書きやすい。
- 確認がしやすい。
- 黒板を書き写せたことの達成感が得られる。

③注目ポイントの活用



○書き写すところに「ノート」と記したマグネットを貼ったり、書き写す部分を枠で囲んだりすることで、書く場所が明確になる。

④プリントの活用

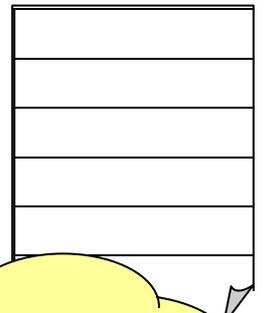
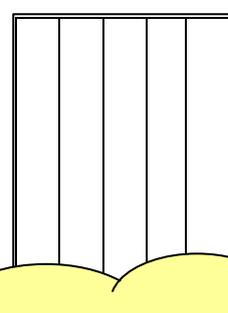
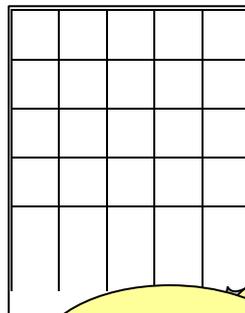
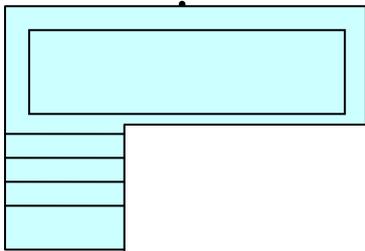
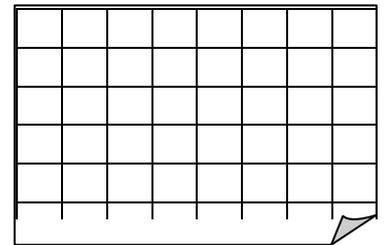


○ホワイトボードやプリントを利用して、ノートの横に(手元の近くに)書き写す部分を提示すると、見比べやすくなる。
○キーワード等、大事な部分だけを()に書き込むようなプリントが、効果的なケースもある。

そこで...

使いやすいノートを見つけよう！

- ★縦書き？横書き？
- ★行間はどのくらいの幅がいい？
- ★罫線がある方が書きやすい？
- ★升目になっている方が書きやすい？
- ★罫線も升目もないノートが使いやすい？



書きやすい、使いやすいノートや手帳を、家庭と協力して探せるといいですね。

P10の「ちょこっとコラム」も読んでみてください！